

第3回 鴨川オオバナミズキンバイ駆除活動 実施要領

鴨川で拡大している外来植物「オオバナミズキンバイ」を駆除します。

オオバナミズキンバイは中南米原産の外来植物です。葉や茎の切れ端からでも再生するほどの驚異的な繁殖力を持っており、水面を覆い尽くし、他の生物の生息や漁業の障害となるなど、生態系や人の暮らしに大きな影響を与えています。関西地方では琵琶湖を中心に猛威を振るっており、鴨川でも侵入が確認されています。平成26年には「外来生物法」に基づく「特定外来生物」に指定され、駆除の対象とされています。



日時： 令和3年11月21日(日)9時30分～11時30分(受付:9時～)
※小雨決行、荒天等の場合は11月28日(日)に延期します。

荒天等により活動を中止する場合、11月19日(金)13時に京都府 HP でお知らせします。

URL: <http://www.pref.kyoto.jp/gairai/oobanamisukinbai.html>

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止とする場合もあります。

集合場所： 鴨川左岸 塩小路橋北(京阪七条駅から徒歩10分程度)
※詳細は別添地図参照

活動区域： 鴨川左岸・右岸 七条大橋付近

活動内容： 外来植物「オオバナミズキンバイ」の駆除

人数： 30名～50名(予定)
※体力に自信のある方の参加とさせていただきます。

服装： 汚れたり濡れたりしてもよい服装でお越しください。

持ち物： マスク(感染症対策のため)、
雨具(小雨決行のため)、
【可能な方のみ】胴長、防水パンツ、長靴

保険など： 参加者全員、ボランティア保険に加入します。
(保険料は主催者で負担します。)

共催： 京都府、鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワーク

後援： 環境省近畿地方環境事務所、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、
きょうと地域創生府民会議、京と地球の共生府民会議(各予定)

協力： 滋賀県、京都市、藤田医院、救援ボランティア左京

参加団体： 鴨川を美しくする会 団体会員 等



■当日の流れ

1. 受付 9:00～

- ・ アルコールで手指消毒を行ってください。
- ・ 非接触型体温計で体温を確認します。
- ・ 自己体調管理チェックリストを提出してください。

2. 道具の受け取り

- ・ 駆除に使用する道具(軍手、鎌など)を受け取ってください。

3. 開会(主催者挨拶、作業の説明など) 9:30～

4. 駆除活動

- ・ 最後に駆除した植物体を収集し、河川敷に運搬します。

5. 閉会(主催者挨拶など) 11:30～

■活動にあたっての留意事項

【駆除作業】

- 手、鎌、スコップなどでオオバナミズキンバイを駆除し、袋に詰める。
 - ・ 根元から慎重に抜き取る。根や茎をなるべく残さない。
 - ・ 濡れているものはネット袋に入れ、よく水を切る。
- 駆除したオオバナミズキンバイは、なるべく残さず回収する。
 - ・ 葉や茎の切れ端からでも再生するので、葉や茎は可能な限り散らかさない。
- オオバナミズキンバイは絶対に持ち帰らない。
 - ・ 本種の栽培、保管、運搬などは「外来生物法」で原則禁止とされている。

【感染症対策・体調管理】

- 感染症拡大防止のため、以下の点に十分に留意する。
 - ・ 当日、発熱や体調不良などがある場合は、活動へ参加しない。
 - ・ 必ずマスクを着用(マスクは各自で用意)。
ただし、他の方と2m以上離れている場合には外してもよい。
 - ・ 手指消毒や手洗いはこまめに行う。
 - ・ 参加者同士では十分な距離を確保。
 - ・ 道具の共用、活動と関係のない会話、大声での会話は避ける。
- 適宜、休憩を取りながら作業を行う。
 - ・ 体調に異常を感じたときには、拠点(テント)の救護スタッフに相談する。
 - ・ 体調に合わせて適宜、各詰所で休憩を取る。
(※詰所には救護班・感染防止班が待機しています。)
 - ・ 休憩中も密な状態を作らないように注意する。

【その他】

- トイレは、京阪七条駅(改札外)をご利用ください。